

## 【令和3年度 入社式挨拶】

新入社員のみなさん、おはようございます。社長の櫻野です。

入社式にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

本日は熊谷組への入社、誠におめでとうございます。皆さんにとっては、大変大きな節目の日。本来であれば同期全員が一堂に会して行うところですが、新型コロナウイルスの感染が未だ収束せず、内定式に続いて、一部リモート開催となりました。非常に残念に思いますが、形式はどうあれ、皆さんを迎える喜びは同じです。どうか安心下さい。

多くの皆さんとは内定式以来となりますが、その場でも申し上げたように、コロナ禍の中、様々な制約を受けながらの就職活動を経て、数ある企業の中から熊谷組を選択してくれたこと、大変嬉しく思います。また、皆さんを社員として、そして仲間として迎え入れ、一緒に仕事ができることを大変楽しみにしています。

熊谷組は**120**年以上の歴史を持つ企業です。**1898**年の創業以来、「いつか世の中のお為になるような仕事をさせて頂きたい」「難所難物（困難な工事）があれば私にやらせて下さい」という創業者の思い

を大事に引継ぎ、建設事業を通して、広く社会の発展に貢献してきました。長い年月にわたって会社を支えてきたものは、それぞれの時代を生き抜いた“熊谷組の社員”であり、その社員の“誠実さ”そして“挑戦心”です。

皆さんは今日から熊谷組の一員となるわけですが、歴史と伝統ある会社、そして建設事業を通じて社会貢献している会社に入社したことを大いに誇りに思い、自分の夢を実現するとともに、是非とも熊谷組の良き風土とスピリットを、将来にわたって繋いでいてもらいたいと思います。

熊谷組グループは、「現場力を高め、独自の価値をつくり、時代を超えてお客様と社会を支え続ける」というグループビジョンのもと、「社会から求められる建設サービス業の担い手」として、“持続可能な社会”、“快適に暮らせる社会”そして“経済が成長する社会”の形成に貢献していくことを役割としています。皆さんには、ビジョンの実現、役割の達成に向け、我々と一緒になって取り組んでもらいたいと思います。

新型コロナウイルスの影響により、経済環境は先行き不透明な状況にあります。ここ数年良好に推移してきた建設市場も、競争環境が激化してきています。また、建設業界は「担い手不足」という構造的な課題に直面しており、「働き方改革・生産性の向上にむけた取り組み」が喫緊の課題となっています。ウィズコロナ、アフターコロナの時代を見据えつつ、新常态（所謂ニューノーマル）に柔軟に対応した建設現場・働き方の構築を進めなければなりません。まさに、大きな変革の時代に技術と柔軟な発想で、時代に即した価値を創出していくことが求められています。こういった面においても皆さん若い力に大いに期待しています。

また、皆さんには、“常に自己の成長を目指し、チームの力になれる存在感のある社員”に成長してもらいたいと思います。そのためには、周囲との積極的なコミュニケーションを通して、互いに、「伝えあい」「理解しあい」「認めあい」「実践し合う」ことを忘れずに、日々の仕事に取り組んで下さい。

最後に、皆さん全員が一堂に会すのは秋になると聞いています。それまでには、ワクチン接種もある程度行き届き、コロナウィルスの感染が収束に向かっていること願っていますが、ともに試練を乗り越えた仲間の絆は大変強いものがあると言います。同期の仲間を大切にし、将来にわたって切磋琢磨し、それぞれが大いに活躍されることを期待し、私からのお祝いの挨拶といたします。

本日はおめでとうございます。

以 上